



ホストファミリー経験者の声

令和5年度 大韓民国ソウル特別市江東区からの青少年交流団

2泊という日数は負担なく受け入れられるちょうどよい日数。
また、日本語「初級」がウソ(笑)であることが分かりました。
日本語が上手で驚きました。



家では、子どもたち同士、テレビゲームで盛り上がっていました。
お互いにひらがな・ハングルで名前を教えあっていて、微笑ましかったです。



基本的に片言の日本語、片言の韓国語、少しの英語、身振り手振りでコミュニケーションをとりました。最後の手段として、スマホの翻訳アプリも役に立ちました。



みんなで一緒にバスケットボールをしたり、将棋対決をしたり、わが子にとって、そういう何気ない日常が良い経験になりました。



ホームステイのために特別なことを準備する必要はなく、それぞれの家庭でできることをすればいいのではないかなと思います。



参加してよかったのは、子供が異文化に興味をもったこと。親も韓国について理解を深めることができました。団員さんに「もっと日本語を勉強したいと思った」「将来は日本に住みたい」と言ってもらえ、嬉しく思いました。

